

(別紙様式)

令和7年度学校評価の実施状況等調査

学校名	北部農林高等学校
記載者名	上唐 由紀子

1 自己評価を実施した人数

	校長	教頭	事務長	教諭	事務	その他	計
実施人数	1	1	1	46	0	0	49

※その他 ()

2 学校関係者評価を実施した人数

	学校評議員	PTA役員	その他				計
実施人数	5	0	1				6

※その他 (北農後援会)

3 外部アンケート等を実施した人数

	保護者	生徒	その他				計
実施人数	55	238	0				293

※その他 ()

4 学校評価結果の公表方法等(該当項目に○、複数回答可)

自己評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他(スクリレ)
学校関係者評価	①ホームページ	②学校便り	③保護者への説明会	④その他()

5 令和6年度の学校評価を踏まえ、令和7年度改善した点(いじめ問題に関すること等)

① 学校評価の評価項目をわかりやすい表現に改善を行った。
② サポートルーム支援員との連携強化によるいじめの早期発見と検討委員会での迅速な対応ができた。
③ 職員会議後の「対話の時間」の設定により、教職員間のコミュニケーションが向上し、心理的負担の軽減が図れた。
④ 学校SNSやスクリレ等を活用し、学校の情報発信を充実させることができた。
⑤ 「いいネチケット」を試行導入し、生徒の自己肯定感を向上を目指した。

6 令和7年度の学校評価で明らかになった課題

① 生徒の規範意識を育てる指導の工夫
② 家庭における学習習慣の定着を図るとともに、自立して学習に取り組むことのできる生徒の育成
③ 教師の指導と端末活用との効果的な組み合わせや、生徒が主体的に活用する姿の定着には、工夫必要
④ 進路との関連を意識した授業改善や、自己理解を深める学習機会の充実
⑤ 校内施設の整備と環境美化への取り組み

7 令和7年度の学校評価を活かした令和8年度の改善点

① 生徒の規範意識と自立性の向上
② 職員コミュニケーションの深化と教職員の協働と指導力向上
③ 安全で魅力ある学校づくり
④ 生徒主体で発信する文化を育て、学校情報発信の質向上
⑤ 学校全体での「ポジティブ行動支援(PBIS)」の導入と積極的活用